

市長	副市長	部長	課長	補佐	係長	関係者

会議記録兼報告書

議 題	第 65 回伊那まつり 第 7 回事務局会議
日 時	令和 5 年 1 月 18 日 (水) 午後 6 時から同 7 時 15 分まで
場 所	伊那市役所 多目的ホール
出 席 者	実行委員長 中山昭、事務局長 工藤陽介、事務局次長 安藤泰行 市民おどり委員会 山岸洋子、丸山洋美 おまつり広場委員会 網野俊輔、小池忍、藤澤宏正 遊 ing ビレッジ委員会 城取和広 花火委員会 北原光 市事務局 商工振興課 林裕二・村田和也、生活環境課 藤井聡生・山口雄樹 観光課 清水俊一郎・唐木玲・中谷剛・酒井高太郎・小牧さとみ
打 合 せ 内 容	
<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 (中山実行委員長)</p> <p>1/31 区長会の場合でも伊那まつりのあり方等について問いかけていく。</p> <p>3 協議事項</p> <p>(1) 前回会議のふりかえりについて (唐木)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの方に 1 日開催で理解いただけているという認識。 ・伊那地区区長会に出席し、これまでの事務局会議の内容、現状について報告する。各区長と、伊那まつりに対して意見交換したい。 <p>(2) 第 66 回伊那まつりについて</p> <p>(運営テーマ、事務局素案 (詳細)、事務分担について)</p> <p>【事務局素案 (詳細)、事務分担について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まず事務局会議について、事務局会議は「案」を作成するチームであるため事務局会議の示すものは決定事項ではない。伊那まつり実行委員会をとおして決定していく。 ・花火委員会を商工会議所が主体で担うのは難しい (やらない)。今回予定されている花火の規模が小さいので、これまでやっていた資金協賛をつるほどではないという判断。以前までの規模ならそれに伴う商いが生まれていたのではやる価値はあったが。 ・総務広報委員会で花火を担当する方向で調整したい。 ・遊 ing のかかわりかたについて。現状今までどおりで考えているが、進めていく中で対応できるこ 	

とはしたい。

- ・ 出店料が上がっている中でも出店希望者が増えている。それだけ売り上げがあるということ。ぜひ市内の業者を入れてあげてもらいたい。
- ・ 組織について。今後ずっと伊那まつり委員会は無いということか。それとも過渡的なものか。
- ・ 市長も1日開催を了承している。機動的な体制をとるため、伊那まつり委員会を廃止することについて承諾は得ている。伊那まつり実行委員会でやっていく。
- ・ 伊那まつり委員会を構成する団体には今日の会議以降に話をしていく。
- ・ 今後、市民から2日開催の要望が高まり、また組織を作りなおす際には再検討されるかもしれない。

- ・ 伊那まつり委員会の廃止=2日開催否定 ではない。
- ・ 市民おどり委員会の委員長について、区長会で立候補者がいればやってもらう。
- ・ それぞれの委員会でなにをやればいいのかまだピンとこない。
- ・ 総務広報委員会で花火を担当、組織図(案)⇒承認

【運営テーマ】

- ・ テーマ 前回会議の案を再確認
「新たな一歩」で決定。副題 or キャッチフレーズなどを添える。
- ・ まつりも事務局も生まれ変わる、新しくやっていく、これまでを否定するわけではなく形を変えて新たに進める。
- ・ 一歩踏み出すことが、来年以降、2歩、3歩となってくれば。
- ・ 3年間の空白があった中で、新しいことを立ち上げるということ。昔に戻ることは不可能。
- ・ 漢字一字から脱却するいい機会。
- ・ 思い通りにできない3年間だった。みんな街に出てこよう、と投げかけたい。

- ・ 副題、キャッチフレーズ
みんな祭に参加しようみたいなものが良いのでは。
笑顔は、まつりをやることで引き出せることのひとつ。笑顔にこだわらなくてもいいかも。
みんなでふみだそう、みんなでつくろう、みんなの笑顔がみたい…など。
キャッチコピーが少し硬いので何かキャッチーなものが良いのでは。
→次回事務局会議で決めるのでみんな考えてくる。

(3) その他

4 その他

(1) 今後の日程について

令和5年2月16日(木) 午後6時から 伊那市役所 502会議室

○取材対応

信濃毎日新聞、長野日報、伊那ケーブルテレビジョン